

浅間隠山山行報告

【山行日】 2015年 2月 7日(土) 快晴

【集 合】 岩舟支所P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 2,500円

【メンバー】 CL:鈴木、香川、島田、
津佐、福田、松館、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 6:00⇒はまゆう山荘
8:00⇒二度上峠 P8:20/8:45⇒尾根 9:10⇒南峰
10:00⇒浅間隠山 10:15/10:40⇒尾根 11:30⇒
二度上峠 P11:50/12:10⇒はまゆう山荘
12:30/13:30⇒岩舟支所 P15:40



雪山の絶景を楽しんでもらうため、浅間隠山のスノーハイキングを計画した。

新人二人も興味を示し、是非登ってみたいと参加し賑やかなスノーハイクとなった。



当日朝、専属運転手が腰痛になり、急遽我輩が運転を任されるはめになった。

岩舟を予定通り出発し、はまゆう山荘でトイレを借り昼食と温泉を予約する。

登山口駐車場に着き、準備を整え出発する。

この冬一番と思えるような素晴らしい天気恵まれ、初めての二人にとっては最高のプレゼント。登山道は良く締まっており、アイゼンが効いてとても歩き易い。アイゼン歩行の指導をしながらゆっくり登って行く。尾根に上がった所で休憩し、ア

イゼンの確認と衣服調整をする。雪は去年よりも少なく、大勢の登山者に踏み固められ歩き易いが、それでもトレースを外すと膝まで潜ってしまう。

新人の二人もアイゼン歩行に慣れ、楽しそうに登って行く。右に折れ緩やかに下り、再び登りになり九十九折れに登るようになる。段々傾斜かきつくなり、後ろを振り返ると浅間山が大きく見える。

1500mを越えると傾斜がさらにきつくなり、汗がしたたり落ちてくる。休憩をとり、再度衣服を調整する。南峰の登りはさらにきつくなり、F氏が悪戦苦闘していた。歩き方を指導し、ワラビ平分岐まで登り、あんぱんをいただきエネルギーを補給する。ここまでくれば山頂まではもう



うわずか、遮るものが無い快適な尾根を登って行く。左手には雪を纏った浅間山、右手には日光連山から上州武尊山、谷川岳連峰が白く輝いていた。10時15分、予定時間ピッタリに登頂しお互い



展望を楽しんだら、登って来た道を引き返し林道に戻る。下る途中も会話が弾み、皆満足そうな笑顔。駐車場でアイゼンを外し、靴を履きかえはまゆう山荘へ向かう。昼食は、サラダと牛乳が付いた横須賀海軍カレーをいただき温泉に入る。広々とした温泉にゆっくり浸かり、汗を流して帰路につく。途中、道の駅に寄り買い物をしたが予定より早く岩舟支所に着くことが出来た。

の健闘を称え合う。

浅間隠山は一等三角点の山で、石の祠と方向指示盤があり眺望が素晴らしい。秀麗な浅間山をはじめ八ヶ岳連峰、北岳、北アルプスから上信越の山々と360度の大展望が得られ、飽きることが無い。

熱いコーヒーにどら焼き、リンゴを食べながらゆっくりと展望を楽しむ。穏やかな天気恵まれ、冬の浅間隠山では今までで一番の眺望だと思った。

